

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ポレスター東本浦町 新築工	階数	地上15F
建設地	広島県広島市南区東本浦町131番2	構造	RC造
用途地域	第1種住居、近隣商業、準防火地域	平均居住人員	639 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,工場,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2021年12月20日
敷地面積	4,414 m ²	作成者	寺見 小織
建築面積	2,242 m ²	確認日	2022年1月17日
延床面積	9,360 m ²	確認者	西川 浩史



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.4 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★★★★★</p> <p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 3.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5</p>

3 広島市の重点項目		
<p>重点項目の総平均スコア = 3.4</p>		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.7</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 住宅部分の断熱性能は品確法等級4相当であり、建物の熱負荷抑制に努めている。//非住宅部分のBEImは0.67、住宅部分のBEIは0.88と高効率な設備システムを備えている。//節水コマや節水便器の採用により、水資源の保護に努めている。 また、内装仕上にボード類を採用し躯体と仕上げ材の分別を可能にして、部材の再利用の可能性を向上させている。//BEI、BEImを低く保ち、CO₂の排出率を抑制している。</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 2.5</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 /</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.1</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 内装材や配管材料に耐用年数の長い部材を採用し、耐用性の向上に努めている。/</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される